

News Release

2025年5月29日

報道資料

パイオニア 温室効果ガス排出削減目標の SBTi 認定を取得

パイオニア株式会社は、2030年度に向けたパイオニアグループ全体の温室効果ガス(GHG)排出削減目標を設定し、国際的なイニシアチブである Science Based Targets initiative (SBTi)*より2025年5月に認定されました。



<パイオニアグループ全体の GHG 排出削減目標(短期目標)>

- Scope1・2 の GHG 総排出量を、2030 年度までに 42%削減(2020 年度基準)する
- Scope3 のカテゴリ 1(購入した製品・サービス)とカテゴリ 11(販売製品の使用)の GHG 総排出量を、2030 年度までに 42%削減(2020 年度基準)する
- Scope3 のカテゴリ 1 における GHG 総排出量の 10%にあたるサプライヤーに対して、2029 年度までに SBTi 水準の GHG 排出削減目標の設定を促す

2015年に採択された、気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定の「1.5°C目標」を達成するために、各企業が科学的根拠に基づいた GHG 排出削減目標を設定し、積極的に行動する必要があります。

パイオニアグループは、環境保護の理念として“地球環境を維持、改善し、次世代に引き継ぐことが企業の使命の一つであることを深く認識し、常に豊かで安全な環境の実現に寄与するように努めます”を掲げ、「地球温暖化防止」「省資源と資源循環」「化学物質の管理」「生物多様性の保全」の4つを重要課題として、環境問題の解決に取り組んでいます。

今回の SBTi 認定を踏まえ、再生可能エネルギーの導入拡大と環境問題解決に寄与する製品・サービスの提供を推進するとともに、サプライチェーン全体での GHG 排出削減に取り組み、地球環境の維持・改善に貢献していきます。

パイオニア「国際的なイニシアチブとの連携」Web サイト :

<https://jpn.pioneer/ja/corp/sustainability/environment/internationalinitiatives/?ad=pr>

※ WWF、CDP、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)による共同イニシアチブで、企業に対して科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量の削減目標を立てることを支援・認定する機関。